

処方されるお薬を 選択できることを ご存知ですか？



病院等で診察を受け処方してもらったお薬(医療用医薬品)には、
同じ成分・同等の効き目で価格が違う薬があり、

新薬(先発医薬品)と**ジェネリック医薬品(後発医薬品)**
と呼ばれています。

病院等では新薬が処方されることが多いのですが、
加入者の皆様がジェネリック医薬品を選んで使用することができます。

新薬とジェネリック医薬品

新薬開発には、10～15年もの年月と150～200億円もの開発費用が必要
と言われています。開発後は20～25年間の特許に守られ、開発メーカーが独
占的に販売できるため、価格も変わりません。

対して、ジェネリック医薬品は、新薬の特許期間満了後に公表された新薬の
有効成分を参考に作られるので、開発期間は3～5年、開発費用も少なくす
みます。そのため、新薬の3～5割程度安く販売できるのです。

このことから、ジェネリック医薬品を使用することで、次のような効果が期待され
ています。

- 加入者の皆様の自己負担額が軽減される
- 協会けんぽの医療費抑制にもつながる→医療の質の向上や保険料抑制

ジェネリック医薬品の安全性と品質は？

新薬は、特許期間が満了するまでの長い期間、多くの方に使用され成分の有効性や安全性が確認されています。ジェネリック医薬品は、特許期間終了後に新薬と同じ成分で開発・製造されますので、効き目と安全性は十分に確かめられた薬だといえます。

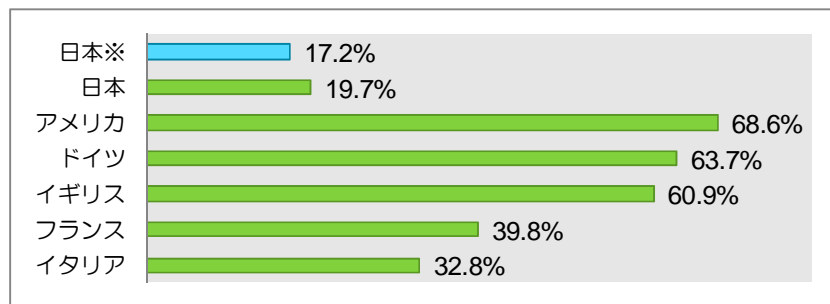
また、ジェネリック医薬品は、薬事法による新薬と同じ厳しい規制のもとで開発・製造・販売され、販売後も「品質再評価」が実施されて品質管理をしていますので、品質に問題はありません。

世界でのジェネリック医薬品使用状況

近年、日本でのジェネリック医薬品の使用率は上昇傾向にあります。20%程度の水準にあり、まだ使用が進んでいるとは言えません。

欧米では全医療用医薬品のうちジェネリック医薬品のシェアが50%以上の国も多く、ジェネリック医薬品は一般的な存在です。こういった国では、ジェネリック医薬品による医療費の抑制にも成果をあげています。また、WHO(世界保健機関)でもジェネリック医薬品の使用を推奨しています。

医療先進国のジェネリック医薬品シェア (2008年・数量ベース)



● 出展: IMS Health, MIDAS, Market Segmentation, RX only, メーカー出荷ベース、MAT Dec 2009

● 日本※: 日本ジェネリック製薬協会 2008 年度調査データ

※ 諸外国と日本では、ジェネリック医薬品の分類等が異なるため、単純比較は難しいとされています。



価格の差はどれくらい？

○ ジェネリック医薬品に替えた場合の自己負担額（3割負担）の例 ○

2010年4月現在：『かんじゃさんの薬箱』リーフレットより

脂質異常症の場合

1日1錠服用した場合の1年(365日)間の自己負担額

ジェネリック医薬品のタイプ	新薬の価格	ジェネリック医薬品の価格	差額
安いタイプ	17,520円	1,095円	16,425円
高いタイプ		4,380円	13,140円

高血圧症の場合

1日1錠服用した場合の1年(365日)間の自己負担額

ジェネリック医薬品のタイプ	新薬の価格	ジェネリック医薬品の価格	差額
安いタイプ	12,045円	2,190円	9,855円
高いタイプ		8,760円	3,285円

※1つの新薬に対し、価格の違うジェネリック医薬品が複数存在しており、医療機関や薬局によって取り扱っているジェネリック医薬品が異なります。実際の金額は上記の表と相違することもありますので、目安としてご覧ください。

※上記以外にも、多くの病気についてジェネリック医薬品がありますが、全ての医薬品にジェネリック医薬品があるわけではありません。

※医薬品によっては新薬と価格が変わらない場合もあります。

※表の金額は、薬代のみを計算した場合です。加入者の皆様が窓口で支払う金額には、薬代以外に医師・薬剤師の検査料や技術料等も含まれています。

※義務教育就学前の加入者の方の負担割合は2割、70歳～74歳の高齢受給者の方は1割（現役並み所得者の方は3割負担）となります。

ジェネリック医薬品を処方してもらうには？

●方法その1

- ▶ 診察時に医師とジェネリック医薬品選択についてご相談ください。
- ▶ 医師がジェネリック医薬品の使用ができると判断した場合には、処方せんにジェネリック医薬品の名前が記載され、医療機関または薬局で調剤してもらうことができます。

●方法その2

- ▶ 診察時にジェネリック医薬品の使用を申し出られなかったときでも、院外処方せんの「後発品への変更不可」欄に医師のサインがなければ、薬局で薬剤師と相談の上、お薬を選ぶことができます。

※ジェネリック医薬品を導入しているかどうか、またその種類や数量は医療機関や薬局により異なります。すべての医療機関・薬局でご希望のジェネリック医薬品が処方できるとは限りませんので、まずはご相談ください。

「希望シール」、「希望カード」をご活用ください！

協会けんぽでは、医師や薬剤師にジェネリック医薬品の使用希望を伝えやすくするための「ジェネリック医薬品希望シール」や「希望カード」を配布しています。

医療機関等の窓口に、シールを貼付した健康保険証やカードを提示することで、簡単に意思表示ができます。



ジェネリック医薬品についてご不明な点は、
医師・薬剤師にご相談ください

参照 日本ジェネリック医薬品学会運営『かんじやさんの薬箱』

URL : <http://www.generic.gr.jp/>

ジェネリック医薬品情報満載！ジェネリック医薬品の検索や取扱薬局・医療機関の検索等もできます



協会けんぽ

全国健康保険協会 長野支部

〒380-8583 長野市南長野西後町1597-1 長野朝日八十二ビル8階

TEL (026) 238-1251 (企画総務グループ)

長野支部のページ <http://www.kyoukaikenpo.or.jp/13,0,91.html>